



# 環境公共 通信

< 最終号 >



第61号 令和6年3月  
発行/環境公共推進会議事務局  
〒030-8570 青森市長島1-1-1  
青森県農林水産部農村整備課内  
TEL017(734)9545 FAX 017(734)8153

## ■最近の話題

### 田んぼダム取組マニュアルを作成しました

全国各地で豪雨災害が多発している中、河川流域全体のあらゆる関係者が協働して行う流域治水の取組が進められています。

県では、流域治水において、水田や農業用ため池を活用した雨水の一時貯留の取組が重要な役割を担うものとして期待されていることから「田んぼダム」を広くPRし普及に取り組んでいくこととしており、農業者が「田んぼダム」に取り組む際の参考になるよう、田んぼダム取組マニュアルを作成しました。

本マニュアルでは、「田んぼダム」の目的や効果、具体的な取組方法や導入にあたってのポイントを取りまとめています。

また、水稻の生産への影響はないのかといった農業者の不安を解消するため、営農への影響について盛り込むとともに、地域全体で取り組むことで大きな効果を発揮することから合意形成についても記載しています。

県のホームページにも掲載していますので、ぜひ御覧になり、田んぼダムの取組の参考としてください。

田んぼダム取組マニュアル:

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/tannbodamutorikumimanyuaru.html>



### 環境公共通信は本号で最終号となります

平成21年12月に始まった環境公共通信も今号で61回目を迎えました。農山漁村に見られる豊かな自然や美しい景観、伝統的な風習、独自の文化などの地域資源は、そこで農林水産業が営まれ、地域コミュニティが存在してこそ保たれるものです。県では、農林水産業が元気になる生産基盤の整備と地域の方々が快適な生活を送るための生活環境整備を行う公共事業を「環境公共」と位置づけてきました。環境公共によって、農林水産業を支え、地域全体の環境を守ることが地域資源を将来に引き継いでいくことに繋がります。15年間にわたり青森県で取り組んできた環境公共は、県内におけるあらゆる農林水産部の公共工事で実践され、定着してきました。これからも、培ってきた技術や経験、考え方を土台に日々の業務に活かしていきます。御愛読ありがとうございました。



## ■「環境公共」事例紹介

熊原川魚道整備推進協議会（三戸郡三戸町、田子町） ～熊原川における環境公共の取組～

### 1 協議会の概要

本協議会は、馬淵川水系熊原川に設置されている農業水利施設の改修にあたり、そこに生息する魚類等の調査結果から、川全体を通じた魚道整備の構想設計を樹立し、それに基づく事業計画の策定、事業着手後の詳細設計・施設整備、施設完成後の効果検証の各段階において、学識経験者や地元関係者から指導・助言をいただきながら、熊原川水系全体を通じた魚道の効果的な機能を発現させることを目的とし、平成26年度から開催されています。

### 2 活動内容

令和5年度現在、熊原川には21箇所の頭首工があり、整備済みが5箇所、整備中が3箇所、未整備が13箇所となっています。

整備方針としては、魚類が遡上できるよう下流からの整備を基本としていますが、施設の老朽化や治水上の問題等により、防災・減災を図るため早期の改修が望まれる場合は、魚道との一体的な整備による経済性や施工性を勘案し、優先度を判断した上で改修を行っているところです。

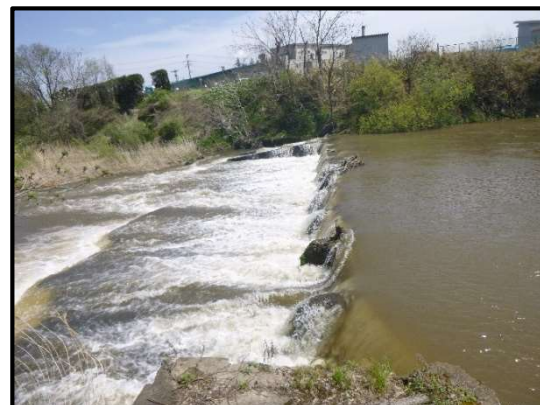
近年は、新型コロナウイルスの影響により書面での開催が続いていましたが、今年度は3年ぶりに対面での協議会が開催されました。

今年度の協議会では、現在設計を行っている沢田地区（三戸町）、嘉沢地区（田子町）、平川原地区（田子町）での魚類調査結果に基づいた整備方針・改修工法の検討、令和6年度以降の未整備施設も含めた今後の整備計画について意見交換を行いました。

### 3 今後の取組

現在設計を行っている3地区では、来年度以降から順次改修工事を進めることとしており、令和9年度に整備が完了する予定となっています。

今後も引き続き、本協議会での検討を重ねながら、魚類に配慮した農業水利施設の整備を推進していきたいと考えています。



整備前の頭首工（沢田地区）



今年度の推進協議会の様子



整備後の頭首工（舞手地区）

環境公共通信 URL

<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/kankyokoukyotsushin.html>

